

令和3年度 園評価

《園の教育目標》 【心豊かにたくましく生きる子】 ・じょうぶな子 ・なかよく遊ぶ子 ・よく考える子

4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない

大垣市立荒崎幼保園

重点目標	評価項目	保護者評価(%)	自己評価 ○成果●課題	自己評価	関係者評価(評議員6名)	今後の改善に向けて
じょうぶな子 ・自ら体を動かすことを楽しみ、安全に遊ぶ。 ・正しい姿勢を意識する。 ・命を守るためにすべきことがわかり、しようとする。	①1日1回思い切り体を動かして遊ぶ場をもつことができたか。 (自己評価3.5以上)	4:80% 3:20% 2:0% 1:0% (平均3.8)	○戸外遊びでは体操やマラソンなどを行うことで体を動かす楽しさを味わえるようにした。室内でもサーキット遊びやリズム遊びなど、十分に体を動かして遊べるよう努めた。年間を通して取り組み、体づくりにつながった。 ●異年齢でできる体操やマラソン等、密にならない方法を考え計画する。	4:94% 3:6% 2:0% 1:0% (平均3.9)	・コロナ禍でも、子どもたちが思い切り体を動かすことができるように、工夫した遊びの場を作っている。	・朝一番に体を思い切り動かす大切さを再認識した。今後も継続して遊びを設定し、体づくりに繋げていく。 ・コロナ禍での異年齢交流を工夫できた。子どもの姿より異年齢交流の重要性を再認識したため、今後更に深めていく。
	②子どもの生活習慣が整うような、意識づけや働きかけができたか。 (朝7:30までに起きることができる子80%)	4:69% 3:29% 2:2% 1:0% (平均3.6)	○早寝・早起き・朝ごはんの大切さを絵本等を通して伝え、意識できるようにした。生活リズムカードをしている期間には保護者にも啓蒙していった。 ●テレビやスマホ、ゲームをしている子どもが多く、寝不足や集中力低下につながっている。家庭へ発信し、協力してもらう必要がある。 ●生活リズムの大切さをカード実施時だけでなく、常に保護者へ発信していく意識を職員がもつ必要がある。	4:39% 3:61% 2:2% 1:0% (平均3.4)	・現代は深夜まで起きている子どもが多く、健康な体や心には睡眠が大切だと思う。意識づけになると思うので、今後も行っていくとよい。	・生活リズムカードを変更し、起床、就寝時刻の把握ができるようにした。7:30までに起きている子は84%で評価達成となったが、次年度は設定時間を7:00にする。
	③手洗い、消毒、マスク着用の大切さを子どもに伝え、感染対策を行っている。 (保護者・自己評価3.5以上)	4:79% 3:21% 2:0% 1:0% (平均3.8)	○手洗い・消毒・マスク着用は、合言葉のようになり、習慣になってきている。 ○戸外から帰ると自然に手洗いうがいをするようになった。2歳児は3学期からマスクの着用をするように努めた。(未満児) ○黙食に取り組み、命を守る行動ができるようにした。(幼児) ●寒くなると手洗いが億劫になるため、掲示で知らせるとよい。 ●登園時の手指消毒がおろそかになる時があるため、見届けをしっかりとる。(未満児)	4:61% 3:39% 2:0% 1:0% (平均3.6)	・どの感染症も「手洗いうがい・消毒」に尽きる。一番大切なことを引き続き子どもたちに伝えてほしい。	・命を守るための大切さをその都度教えている。コロナ禍での学びを今後も生かしていく。
なかよく遊ぶ子 ・自分や友達の良いところをみつめる。 ・異年齢児や地域との連携を深める。 ・挨拶や返事、正しい言葉遣いをする。	④学年便りを通して、なかよく遊ぶ子の欄に写真を掲載し、友達のかかわりや自分の気持ちの調整の大切さを伝えている。 (保護者・自己評価3以上)	4:75% 3:23% 2:2% 1:0% (平均3.7)	○生活や遊びの様々な場面での、他者との関わりやルールを守ることの大切さを文章や写真を通して伝えることができた。保育の中で大事にしていることを、意識して掲載できた。 ●よい姿ばかりではなく、子どもの葛藤や思いの変化などの心の育ちを伝えていく。	4:33% 3:67% 2:2% 1:0% (平均3.3)	・小学校の評価項目(④⑤⑥)につながるところである。幼保園時代にしっかりと基礎ができているとよい。	・規範意識の芽生えを学年便りに掲載したことで、10の姿を常に意識することにつながった。次年度も継続し行い意識できるようにする。
	⑤子どもが自分から進んで挨拶できるようなかわりができたか。 進んで挨拶できる子80%。 (保護者アンケート3.5以上)	4:65% 3:33% 2:1% 1:1% (平均3.6)	○保育者がモデルとなり、視線を合わせながら大きな声で挨拶することで、自発的に挨拶する子が増えている。 ○挨拶の大切さをクラス目標に取り入れ、毎日子どもたちと唱えて意識できるようにした。大きな声で挨拶できる子が増えた。 ●挨拶が一方通行になり、返ってこないこともある。挨拶すると嬉しい気持ちになることを伝えていく。	4:53% 3:47% 2:0% 1:0% (平均3.5)	・社会に出て挨拶はとても大切だと感じる。マスクをしていて難しい部分もあるが、そこも併せて指導をしていってほしい。	・挨拶はコミュニケーションの第一歩と捉え、保育者が率先してすることを継続し、挨拶しやすい雰囲気づくりを心掛けていく。
	⑥身近な自然と触れ合える環境を整えることができたか。 (自己評価3以上)	4:73% 3:26% 2:1% 1:0% (平均3.7)	○季節を感じられる遊びを取り入れようと、自然物を用意したり、子どもたちが扱いやすいよう、身近に置いたり、やってみたいと思えるような援助や提案をしたりして自然に触れることができる環境を心がけた。 ○生き物を飼育し、餌当番や水やり当番をするなど、子どもたちが自分からかかわることができる環境を整えた。 ●年間を通して継続して設定することができるようにする。	4:39% 3:50% 2:11% 1:0% (平均3.2)	・自然物や生き物とのかかわりが、優しい気持ちが育つ。引き続き自然を取り入れた保育をしてほしい。	・飼育物を育てる環境は学年によって差が出た。未満児は設置場所など配慮がいるが、今後も年間を通して飼育できるような環境を整えたい。
よく考える子 ・自分の好きな遊びをみつけ、工夫したり試したりして繰り返し遊ぶ。 ・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞くことしたりする。	⑦子どもが好きな遊びを見つけて繰り返し遊ぶことができる環境の工夫ができたか。 (保護者・自己評価3以上)	4:76% 3:23% 2:1% 1:0% (平均3.7)	○製作棚や途中の作品を置くスペースを確保したり、道具を取り出しやすいよう視覚化して設置したりすることで、自分で遊びの準備をし、繰り返し遊ぶ姿が見られた。 ○友達との遊びをクラスで紹介したり、遊びのヒントを伝えたりすることで、継続して遊びに取り組む子が増えた。 ●遊びが継続しない子への援助の仕方を工夫する。	4:59% 3:41% 2:0% 1:0% (平均3.6)	・一つの教室の中に、いくつかの遊びを用意し、子どもが選択できるような環境となっている。	・子どもの内面を読み取り、対話を心がけ、やりたい遊びを設定できるよう努力できた。また、継続した遊びの重要性を理解し、環境を整えることができたため、今後も継続したい。
	⑧子どもが思いを伝え、相手の話を聞くこととしたりする。 (保護者・自己評価3以上)	4:77% 3:23% 2:0% 1:0% (平均3.8)	○意図的に話す機会を設け、認める言葉をかけることで、思いを伝えることに自信がなかった子ども、思いが伝えられるようになってきた。 ○思いを伝える姿を見守ったり、伝え方を知らせたりした。相手の思いを代弁したり、気持ちに気付けるような声かけをすることに努めた。 ●発達段階をしっかりと捉えて、年齢やその子に合った援助をすることの大切さに気付けるとよい。	4:33% 3:61% 2:6% 1:0% (平均3.3)	・マスクで表情が見えないために、表情でコミュニケーションをとることが難しい。良い意味でコミュニケーションの大切さを学んでほしい。子どもが相手に思いを伝えられるよう、援助してほしい。	・言葉で伝えることができるようになるまでの発達過程を理解し、発達年齢に応じた援助ができるよう今後も自己研鑽する。